

明野

関城

下館



人と自然 安心して暮らせる 共生文化都市

筑西市誕生

平成17年3月28日（月）、下館市・関城町・明野町・協和町の1市3町が合併し、新たに「筑西市」が誕生しました。

これから、新市としての一体性の速やかな確立と市民福祉の向上、地域の均衡ある発展を図りながら、筑西市の将来像「人と自然、安心して暮らせる共生文化都市」の実現をめざして、新たなまちづくりが始まります。

私たちの筑西市

筑西市は東京から北へ約70km、茨城県の西部に位置し、総面積は205.35km。南は下妻市と日本を代表する科学技術中枢都市「つくば」を含むつくば市に、東は岩瀬町、大和村、真壁町に、西は結城市、八千代町、栃木県小山市に、そして北は栃木県二宮町に接しています。

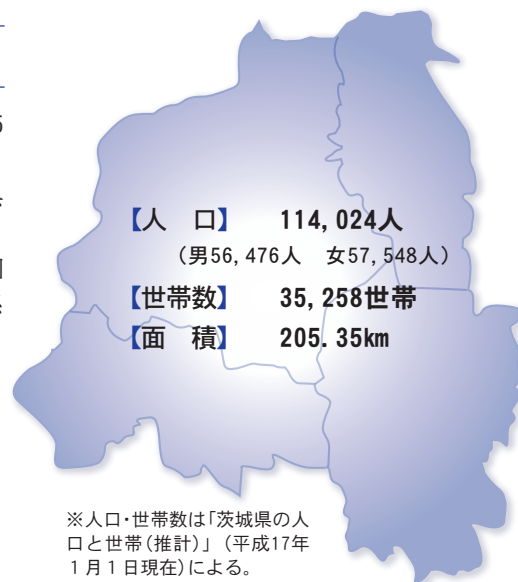
地形はおおむね平坦で、鬼怒川・小貝川などが南北に流れ、肥沃な田園地帯を形成しています。標高は約20mから60mです。北部には阿武隈山系の一部につながる丘陵地帯があり、その標高は約200mとなっています。

気候は太平洋型の気候で、四季を通じて穏やかです。



■市章

筑波山を配し、河川に育まれた緑豊かな大地を表現したデザインです。



筑西市誕生までの あゆみ

■平成15年

- 3月—下館市・関城町・明野町・協和町合併協議準備会を設置
- 4月—下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会設置に係る臨時議会(下館市・関城町・明野町可決、協和町否決)
- 5月—下館市・関城町・明野町・協和町首長会議を開催
- 6月—下館市・関城町・明野町合併協議会設置議案を上程(関城町・明野町17日議決、下館市19日議決)。下館市・関城町・明野町合併協議会を設置、協議書調印
- 7月—県知事に合併重点支援地域の指定を申請、県が下館市・関城町・明野町を合併重点地域に指定。協和町・明野町において4市町合併協議会設置議案を上程(協和町23日議決、明野町28日議決)
- 8月—関城町・下館市において4市町合併協議会設置議案を上程(関城町4日議決、下館市11日議決)。下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会を設置、協議書に調印
- 9月—新市建設計画策定のための住民意識調査を実施

■平成16年

- 4月—第10回合併協議会で新市の名称を「筑西市」と決定
- 5月—第11回合併協議会で合併の期日(平成17年3月28日)、新市建設計画を決定。合併協定調印式
- 6月—4市町において合併関連議案を上程(明野町3日議決、関城町・協和町11日議決、下館市18日議決)
- 7月—県知事に廃置分合(合併)申請書を提出
- 9月—廃置分合(合併)の県知事決定
- 11月—廃置分合に係る総務大臣告示。

第14回協議会で
新市の市章を決定

■平成17年

- 3月—下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会の解散。筑西市誕生



橋本昌茨茨城県知事の立ち会いのもと、4首長が協定書に署名しました。



筑西市長職務執行者
古宇田 和夫
(旧明野町長)

平成17年3月28日、住民の熱い期待を受けながら、「筑西市」が誕生しました。この歴史的な日を迎えるまでの間、ご尽力いただきましたみなさまをはじめ関係各位に対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。
今日の地方自治体を取り巻く環境の厳しさはご承知のとおりですが、「筑西市」は、今回の合併を積極的にとらえ、行政の効率化を一層高め

新市誕生のごあいさつ

るとともに、市民と行政が一体となって、新たなまちづくりに果敢にチャレンジし、地方分権の理想的な担い手となるよう努力していかねばなりません。

新たに誕生した「筑西市」は、地理的条件に恵まれ、豊かな自然や歴史に裏打ちされた文化などの素晴らしい資源を有しています。そして何より、それらを育み、地域を支えておられる英知と情熱をもったみなさまがおられます。こうしたみなさまと行政が一体となることで、「筑西市」が素晴らしいまちになっていくものと信じてやみません。

みなさまが住んでよかったと実感できるように、なまちづくりを願いながら、新市スタートのご挨拶とさせていただきます。